

急性扁桃炎



原因と症状

- ・ 子どもから大人まで見られる病気です、頻回に繰り返す人もいます。
- ・ 細菌やウイルスなどの病原体が口蓋扁桃に侵入増殖し、口蓋扁桃が痛みを伴って赤く腫れたり、膿が付いたりするのが急性扁桃炎です。
- ・ 耳が痛くなったり、口蓋扁桃に近い首のリンパ節が腫れることもあります。
- ・ 主な症状はのどの痛みと発熱です。痛みが強い場合には食事ができないこともあります。
- ・ 発熱は40度前後と高熱となることも珍しくなく、全身のだるさや関節痛を伴うこともあります。

診断と治療

のどの痛みと高熱、口蓋扁桃の発赤と腫れ、白い膿の付着があればまず急性扁桃炎を疑います。治療は抗菌薬や消炎鎮痛薬を内服します。痛みが強く、食事がとれない場合は点滴をすることもあります。

重症の場合は入院になることもあり、頻回に繰り返す場合は手術をお勧めします。

家庭でできること

手持ちの痛み止めがあれば内服し、水分を十分に取り、翌日に耳鼻咽喉科を受診しましょう。

急患診療センターを受診するめやす

- ・ 痛み止めがなく、食事がとれないなど症状が強い場合などに受診してください。
- ・ 耳鼻科外来は日曜、祝日、GW、年末年始の昼間(9:00~18:00)のみで、その他は内科や小児科での診察となることがありますので、翌日必ず耳鼻咽喉科を受診してください。
- ・ のどの腫れが強く、呼吸が苦しくなるようであれば市民病院か大学病院にご相談ください。

新潟市急患診療センター（電話025-246-1199）

<http://www.niigata-er.org>